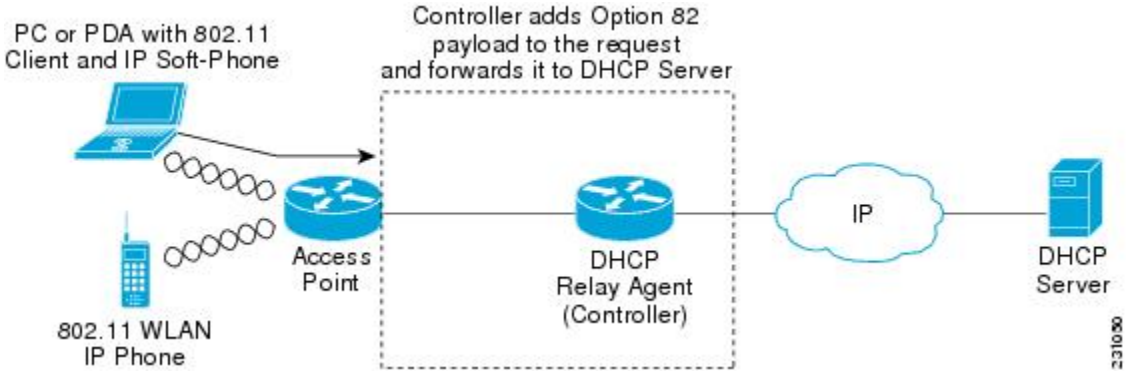
DHCP オプション 82 の設定

- DHCP オプション 82 について，1 ページ
- DHCP オプション 82 の制約事項，2 ページ
- DHCP オプション 82 の設定（GUI），2 ページ
- DHCP オプション 82 の設定（CLI），2 ページ
- ブリッジ モードでの DHCP オプション 82 挿入の設定（CLI），3 ページ

DHCP オプション 82 について

DHCP オプション 82 では、DHCP を使用してネットワーク アドレスを割り当てる場合のセキュリティが強化されます。 controllerが DHCP リレー エージェントとして動作して、信頼できないソースからの DHCP クライアント要求を阻止できるようにします。 DHCP サーバに転送するようにクライアントからの DHCP 要求にオプション 82 情報を追加するようにcontrollerを設定できます。

図 *1*：*DHCP* オプション *82*



アクセス ポイントは、クライアントからのすべての DHCP 要求をcontrollerに転送します。 controllerは、DHCP オプション 82 ペイロードを追加してから要求を DHCP サーバに転送します。 このオ

プションの設定方法によって、ペイロードにはMACアドレス、またはMACアドレスとアクセスポイントの SSID が含まれます。

（注） すでにリレー エージェント オプションが含まれている DHCP パケットは、controllerでドロップされます。

DHCP オプション 82 が正しく動作するには、DHCP プロキシが有効でなければなりません。

DHCP オプション 82 の制約事項

- DHCP オプション 82 は、自動アンカー モビリティと共に使用することはできません。

DHCP オプション 82 の設定（GUI）

ステップ 1 [Controller] > [Advanced] > [DHCP] を選択して、[DHCP Parameters] ページを開きます。

ステップ 2 [Enable DHCP Proxy] チェックボックスをオンにして、DHCP プロキシを有効にします。

ステップ 3 ドロップダウン リストから DHCP オプション 82 の形式を選択します。 DHCP オプション 82 ペイロードの形式の指定には、バイナリまたは ascii を選択できます。

ステップ 4 ドロップダウン リストから DHCP Option 82 Remote ID フィールド形式を選択して、DHCP オプション 82 ペイロードの形式を指定します。
使用可能なオプションの詳細については、コントローラのオンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 5 [DHCP Timeout] フィールドに DHCP タイムアウト値を入力します。 タイムアウト値はグローバルに適用できます。 5 ～ 120 秒の範囲で DHCP タイムアウト値を指定できます。

ステップ 6 [Apply] をクリックします。

ステップ 7 [Save Configuration] をクリックします。

次の作業

コントローラの CLI で、次のコマンドを入力して、WLAN が関連付けられている動的インターフェイスの DHCP オプション 82 を有効にできます。

config interface dhcp dynamic-interface*interface-name***option-82 enable**

DHCP オプション 82 の設定（CLI）

- 次のコマンドのいずれかを入力して、DHCPオプション82ペイロードの形式を設定します。

- **config dhcp opt-82 remote-id***ap_mac*：DHCP オプション 82 ペイロードにアクセス ポイントの無線 MAC アドレスを追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***ap_mac:ssid*：DHCP オプション 82 ペイロードにアクセス ポイントの無線 MAC アドレスと SSID を追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***ap-ethmac*：DHCP オプション 82 ペイロードにアクセス ポイントのイーサネット MAC アドレスを追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***apname:ssid*：DHCP オプション 82 ペイロードにアクセス ポイントの AP 名と SSID を追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***ap-group-name*：DHCP オプション 82 ペイロードに AP グループ名を追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***flex-group-name*：DHCP オプション 82 ペイロードに FlexConnect グループ名を追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***ap-location*：DHCP オプション 82 ペイロードに AP ロケーションを追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***apmac-vlan-id*：DHCP オプション 82 ペイロードにアクセス ポイントの無線 MAC アドレスと VLAN ID を追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***apname-vlan-id*：DHCP オプション 82 ペイロードに AP 名とその VLAN ID を追加します。
- **config dhcp opt-82 remote-id***ap-ethmac-ssid*：DHCP オプション 82 ペイロードにアクセス ポイントのイーサネット MAC アドレスと SSID を追加します。

- 次のコマンドを入力して、DHCP オプション 82 の形式をバイナリまたは ASCII として設定します。
  config dhcp opt-82 format{**binary**|**ascii**}
- 次のコマンドを入力して、WLAN が関連付けられている動的インターフェイスに対して DHCP オプション 82 を有効にします。
  config interface dhcp dynamic-interface*interface-name***option-82 enable**
- **show interface detailed***dynamic-interface-name* コマンドを入力して、動的インターフェイスの DHCP オプション 82 のステータスを確認してください。

ブリッジ モードでの DHCP オプション 82 挿入の設定（CLI）

- 次のコマンドを入力して、管理インターフェイスでブリッジ モードの DHCP オプション 82 挿入を設定します。
  config interface dhcp management option-82 bridge-mode-insertion {**enable** | **disable**}

（注） **show interface detailed management** コマンドを入力して、DHCP オプション 82 ブリッジ モード挿入が管理インターフェイスで有効になっているか、無効になっているかを確認します。

- 次のコマンドを入力して、動的インターフェイスでブリッジ モードの DHCP オプション 82 挿入を設定します。
  config interface dhcp dynamic-interface*dynamic-interface-name***option-82 bridge-mode-insertion** {**enable** | **disable**}

（注） **show interface detailed***dynamic-interface-name* コマンドを入力して、DHCP オプション 82 ブリッジ モード挿入が管理インターフェイスで有効になっているか、無効になっているかを確認します。